

# 東大阪市景観形成基本計画 (概要)



2005(平成 17)年

東大阪市

## わたしたちの東大阪の景観

わたしたちが住み・働き・学んでいる東大阪の景観は、それぞれの時代の暮らしのありかたにあわせて、人びとが環境に働きかけてきた長い歴史の成果です。その歴史のあゆみをふまえて、東大阪の景観の成立ち＝景観の構造をつぎのようにまとめることができます。

### 東大阪の景観構造

①生駒山と大和川がつくりだした自然や地形・風土にはぐくまれ、大和川の氾濫と闘いながらも農村として発展してきた地域が、②鉄道の開通とともに沿線に住宅地を形成しつつ駅を中心に商業業務地を発達させ、また他方で、③道路の整備にとまない地場産業から発達した工業地と流通業務地とを形成し、農地を住宅地や工業地に変貌させるなかで都市として発展し、現在、④中枢としての新都心を形成しつつある。



東大阪の景観は、①自然景を土台に、そのうえに②生活景と③産業景が展開し、④都心景が全体をまとめる、といった構造をもっています。そして、それぞれの景には、自然・歴史・暮らし・産業といったさまざまな景観要素があふれています。

**④都心景**  
～「新都心」の景～  
東大阪新都心では新しい街が、いま生まれようとしています。

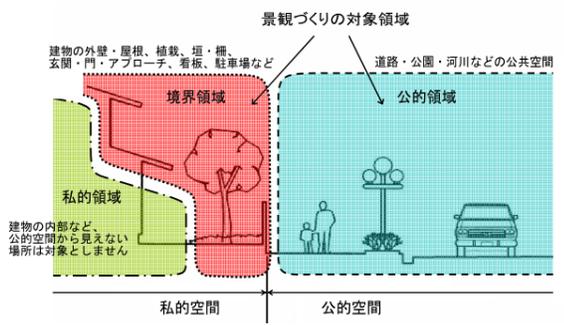
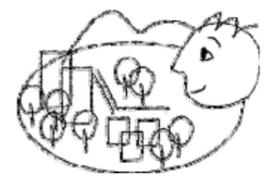
**②生活景**  
～「暮らし」の景～  
鉄道の沿線には住宅地が広がり、駅を中心に商業業務地が形成されました。

**③産業景**  
～「モノづくり」の景～  
道路の整備が進むと、農地は工業地や流通業務地に変わりました。

**①自然景**  
～「みどりの景」～  
みどりの生駒山と河川によって東大阪はかたちづけられました。

**景観って何だろう** まちに立ってあたりを眺めてみると、山や川、建物や道路などさまざまなものが目にはいります。そこで生活しているたくさんの人の姿も見えます。色や形ばかりではありません。音やにおい・感触といったものもいっしょになって、まちの印象として心に刻まれてゆきます。

このように、わたしたちを取りまく環境を、わたしたち人間が、感覚をさまざまに使って眺め感じた「**まちの姿**」、それを**景観**といます。この「まちの姿」は、生活や産業のありかたにあわせて、長い時間をかけ、たくさんの人の手によってかたちづけられてきたものです。ですから景観は、わたしたちが受継ぎ、まもり、よりよいものにつくりかえ、次の世代につたえてゆくべき「**まちの文化遺産**」といえるでしょう。



**どうすることが景観づくり** 「まちの姿」が、ふと魅力的で好ましいと感じるときがありますが、そんなときはきっと、わたしたちの生活は、まちと調和し、いきいきしたものになっているはず。

まちでの生活を一層いきいきしたものにし、「まちの姿」を魅力的で好ましいものにするため、わたしたちの生活のありかたを見つめ直し、生活とまちとの調和をつくりだすこと、そして、眺め感じることをとおして、それを実感できるようにする取組み、それが**景観づくり**です。

# 東大阪らしさが感じられる「まち」をつくろう

東大阪の景観は、自然景・生活景・産業景・都心景といった構造によって特徴づけられています。また、それらの景観構造は、住み・働き・学び・憩い・楽しむといった生活のありかたによって、それぞれ性格づけられていて、それらの生活がまちと調和し、いきいきとしているとき、景観は良好な状態にあるといえます。

東大阪らしさが感じられる「まち」をつくるには、まず、生活がまちと調和していることが実感できるよう、自然景・生活景・産業景・都心景にあるさまざまな景観要素を整えてゆく必要があります。そして、さらに東大阪を特徴づけている自然景・生活景・産業景・都心景の、ひとつひとつをきわだたせ、互いになじませながら、すべてをひとつにまとめてゆくことが大切です。

景観構造を特徴づける ～きわだたせ、なじませ、ひとつにまとめる～

## 都心景の方針



東大阪新都心では「21世紀の文化交流都市」をめざして整備がすすめられています。東大阪のあたらしい顔にふさわしい魅力ある景観をつくります。

### 東大阪の顔として 産業・生活文化交流新都心を創生する

- 1 人びとが集まり交流するにぎわいと活気のある東大阪の顔をつくる



- 2 まとまりのある流通業務市街地の街並みをつくる

## 産業景の方針

さまざまなモノづくりが繰りひろげられ、モノが流通するさまは、東大阪ならではの「モノづくりのまち」の誇りと活力にあふれた景観をつくります。



### 「モノづくりのまち」の活力を演出し 住宅地との調和をつくる



- 1 「モノづくりのまち」のイメージ向上をはかる
- 2 工場・倉庫の単調な街並みを改善し住宅地との共存をめざす
- 3 のどかな田園風景をまもる



## ●基本方針I ●東大阪らしさをつくる ～東大阪らしさが感じられる「まち」をつくる～



## 生活景の方針



自然とのふれあいや人びととの交流は、わたしたちの暮らしの基本です。日々の暮らしが快適で充実していることが感じられる景観をつくります。

### 住宅地に快適さとうるおいをもたらす 商業地に魅力とにぎわいをとりもどす

- 1 うるおいとゆとりのある快適な住宅の街並みをつくる
- 2 歴史の感じられる落ち着いたあるたたずまいをまもる



- 3 人びとが集まりにぎわいと活気の感じられる商業地をつくる



- 4 「ラグビーのまち」「学生のまち」のイメージ向上をはかる



## 自然景の方針

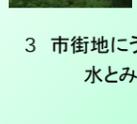
生駒山と大和川が作りだした東大阪の自然や地形は、「東大阪らしさ」の基盤です。それらを生活のなかにかすことで東大阪らしい景観をつくります。



### 生駒山と大和川がかたちづつた 自然や地形をいかす



- 1 生駒の山並みと大和川の名残の地形をまもる
- 2 生駒山の貴重な自然環境をまもる



- 3 市街地にうるおいを創出し水とみどりのネットワークを形成する



東大阪市第2次総合計画がえがく将来都市像「夢と活力あふれる元気都市・東大阪」を景観面から実現し、良好な景観を「東大阪らしさ」として創出するため、わたしたちは景観づくりの基本目標を次のように設定します。

## 景観づくりの基本目標

みんなが愛着と誇りを持ち 活気にあふれる 環境実感都市・東大阪  
(住み、働き、学び、訪れてよい景観のまち・東大阪)

### 愛着と誇りがもてる景観 をつくります

このまちで住み・働き・学んでいるわたしたち一人ひとりが、愛着をもち誇りに思えるまちづくりを景観形成から進めます。

### 環境実感都市 をめざします

このまちで住み・働き・学び、このまちを訪れるすべての人が、感情豊かにまちを眺め、まちの魅力を実感できるまちづくりを景観形成からめざします。

### 活気あふれる景観 にそだてます

わたしたちみんながいきいきと暮らし、そのエネルギーが感じられる活気あふれるまちづくりを景観形成から進めます。

## わたしたちがめざす景観づくり

景観づくりの基本目標を実現するためにはまず、わたしたちが住み・働き・学んでいる東大阪の「まち」を、愛着をもち誇りに思える「まち」につくりかえるための取組みと、その取組みを担うわたしたち東大阪に住み・働き・学んでいる「ひと」が、愛着と誇りをはぐくんでゆくための努力を、つづけてゆくことが大切です。

## 景観づくりの基本方針

東大阪の「まち」と「ひと」  
～その双方から、東大阪らしさをつくり、東大阪らしさをはぐくみます

### ●基本方針I ●

東大阪らしさをつくる  
～東大阪らしさが感じられる「まち」をつくる～

みんなが愛着と誇りをもてる「東大阪らしさ」をつくるには、東大阪の自然や産業・文化、そしてその成立ちを大切にしながら、住み・働き・学ぶといったさまざまな場面でそれらを活かしてゆくことが必要です。

自然・生活・産業が調和する個性的で魅力あるまちづくりを進め、東大阪らしさが感じられる「まち」をつくります。

- 1 生駒山と大和川がかたちづつた自然や地形を生活にいかそう
- 2 住宅地に快適さとうるおいをもたらす、商業地に魅力とにぎわいをとりもどそう
- 3 「モノづくりのまち」の活力を演出し、住宅地との調和をつくろう
- 4 東大阪の顔として、産業・生活文化交流新都心を創生しよう

### ●基本方針II ●

東大阪らしさをはぐくむ  
～東大阪らしさをはぐくむ「ひと」になる～

みんなが愛着と誇りをもてる「東大阪らしさ」をはぐくむには、東大阪をものがたる自然や歴史・産業・文化に学び、まちを大切に思うココロを育て、それをカタチにしてゆくことが必要です。

みんなが力をあわせて、まちづくりをすすめることをとおして、東大阪らしさをはぐくむ「ひと」になります。

- 1 東大阪のまちを大切に思うココロを育てよう
- 2 東大阪のまちを大切に思うココロをカタチにしよう

# 東大阪らしさをはぐくむ「ひと」になろう

愛着と誇りがもてる「まち」では、いきいきと活気のある生活が生まれ、「まち」からやってくるさまざまな感覚が、好ましい感情とともに実感できるようになります。また、人びとの愛着と誇りが細やかな気配りのなか感じられる「まち」は、訪れた人にとっても印象深く、また訪れてみたいと思えるにちがいありません。

「東大阪のまち」に愛着と誇りをもって、東大阪らしさをはぐくむ「ひと」になるには、「東大阪のまち」を大切に思うココロを育て、それをカタチにしてゆくことです。そうして、カタチにあらわされたココロを眺め感じること、「東大阪のまち」を大切に思うココロはさらに大きく育ててゆきましょう。

## 東大阪のまちを大切に思うココロを育てる

～感情豊かに東大阪のまちを眺め感じてみよう～  
「東大阪らしさ」をはぐくむのは、東大阪のまちを大切に思うわたしたちのココロです。東大阪のまちを感情豊かに眺め、みんなで共感しあえるココロに育ててゆきます。

### ●ステップ 1

～まちを感じ、まちを知ろう～  
○五感を使って「まち」を眺め感じよう  
○「まち」の成立ちや文化を知ろう

### ●ステップ 2

～体験や知識をみんなで共有しよう～  
○仲間と一緒に「まち」を体験しよう  
○仲間どうして「まち」を調べてみよう

### ●ステップ 3

～共感の輪を広げ、仲間を増やそう～  
○イベントを企画し参加する人を広く募ろう  
○活動を広く知らせ新しい仲間を増やそう

### ●ステップ 3

～まちの未来を話しあい、ルールにしよう～  
○「まち」の未来を話しあい、ルールをつくろう  
○ルールをまもり、ココロをカタチにあらわそう

### ●ステップ 2

～活動の輪を広げ、みんなの活動にしよう～  
○仲間どうしていろいろな取組をしよう  
○取組の輪を地域に広げよう

### ●ステップ 1

～身近なところからはじめよう～  
○自宅周りなど身近なところからはじめよう  
○地域の活動や行事に参加してみよう

## ●基本方針 II ●東大阪らしさをはぐくむ

～東大阪らしさをはぐくむ「ひと」になる～

## 東大阪のまちを大切に思うココロをカタチにする

～共感しあえる東大阪のまちをみんなの手でつくろう～  
「東大阪らしさ」は東大阪のまちを大切に思うココロが目に見えるようになったものです。まちを大切に思うみんなのココロを、力をあわせてカタチにしてゆきます。

## 連携による景観づくり

わたしたちは、市民・事業者・大学・行政といったさまざまな立場で、東大阪の景観づくりにかかわっています。それぞれの立場でできることを積極的におこない、たがいに補いあいながら、立場を超えて連携してゆくことが大切です。

### ●行政の行動指針

- ▼景観に配慮した公共事業の実施
- ▼公共施設の維持管理の徹底
- ▼民間事業における景観形成の誘導
- ▼景観づくりを推進する制度・組織の整備
- ▼景観づくりに関する情報の提供
- ▼景観づくりに向けた活動への支援

景観づくりの推進・支援

身近なところから始める景観づくり  
市民／事業者  
「モノづくりのまち」のイメージアップ

連携による景観づくり

みんなが愛着と誇りを持ち活気にあふれる環境実感都市  
東大阪

「学生のまち」のイメージアップ

### ●市民／事業者の行動指針

- ▼敷地周辺の道路や溝などの清掃・美化
- ▼建物・庭などの維持管理や緑化
- ▼新築時など、建物の外観の周辺景観への配慮
- ▼周辺の景観に配慮した屋外広告物の掲出
- ▼「モノづくりのまち」のイメージ向上
- ▼地域のまちづくり活動への積極的な参加

### ●大学の行動指針

- ▼「学生のまち」のイメージ向上
- ▼地域のまちづくりへの学生たちの参加
- ▼景観づくりに関する研究・知識の蓄積
- ▼景観づくりに関する情報の発信
- ▼専門的知識を活かした地域のまちづくりへ参加

# みんなで協力して東大阪らしさをつくりはぐくもう

## 東大阪のまちを大切に思うココロを育てるために

市民・事業者一人ひとりが主体的に景観づくりに取組んでゆけるよう、東大阪の景観について意識を高め、みんなが共感をもって感情豊かに「東大阪のまち」を感じとれる機会や場をつくり、「東大阪のまち」を大切に思うココロをみんなで育てるための取組を推進します。

## 1 地域の景観について 学び知る機会をつくりま

- パンフレット・ホームページ等による情報の提供
- タウンウォッチング・景観資源マップづくりなどイベントの開催

## 2 地域の景観について 考え提案する機会をつくりま

- 地域景観をテーマにした絵画展や写真コンクール等の開催
- ワークショップや設計コンペの開催

## 3 人材や組織を育てま

- 優れた建築物や積極的な活動の表彰
- 景観サポーター登録制度などリーダー育成
- 専門家の派遣などによる活動組織の育成

## 4 意見交換の場をつくりま

- 意見交換や情報共有ができるネットワークづくり

# 推進方策1

## 東大阪のまちを大切に思うココロをカタチにするために

市民主体で進める景観づくり、行政が先導的に実施する公共事業における景観づくり、また重点地区での協働による景観づくりをあわせて進め、東大阪のまちを大切に思うみんなのココロをカタチにしてゆく取組を支援し、市民・事業者・大学・行政が連携して景観づくりを推進します。

## 1 市民主体の景観づくり

周辺景観へのちょっとした配慮など、身近なところからはじめる活動を支援し、市民・事業者が自主的に進める景観づくりを推進します。

- デザインマニュアルの作成など身近な景観づくりに関する情報提供
- 専門家の派遣や活動費の助成など景観づくりの支援の検討
- 景観計画の提案や協定の締結など自主的な景観づくりの推進

## 2 公共事業の景観づくり

公共事業の周辺景観への配慮と公共施設の維持管理の徹底を進め、市民の協力を得ながら、先導的で効果的な景観づくりを推進します。

- 地域特性に配慮した公共事業の先導的・効果的な実施
- 違反広告物の撤去や公共施設の維持管理、また公共施設の計画・整備への市民参加の仕組みづくり

## 3 重点地区の景観づくり

地元活動が活発な地域や景観上重要な施設の周辺地域などを重点地区として設定し、みんなの協働による景観づくりを推進します。

- 景観計画の策定など景観法の積極的な活用
- 地域地区や協定など関連制度の効果的な活用

# 推進方策2

## 景観づくりを進める仕組みづくり

みんなが連携しながら東大阪の景観づくりを進めてゆくには、市民・事業者・大学などがさまざまな場面で参加でき、また関連する組織や機関が連携し調整できる仕組みを整えてゆくことが大切になります。そのため、次のような仕組みづくりについて検討を進めます。

## 1 市民が主体的に活動できる場づくり

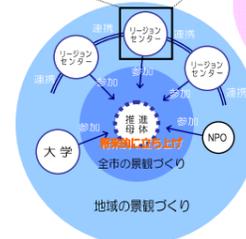
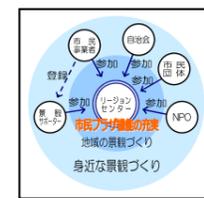
- リージョンセンターの市民プラザ機能の充実による市民・団体・NPO・大学等が参加・交流できる場づくり
- リージョンセンターの連携・交流などによる市民主体の景観づくりを推進する組織づくり

## 2 行政組織の充実と連携

- 総合的・専門的な景観づくりの組織設置
- 庁内を横断的につなぐ調整機関の設置
- 国・府・近隣自治体など関連機関との連携強化

## 3 その他

- 東大阪の景観づくりを専門的に検討する審議会等の設置
- 景観づくりに対する市民の意欲を高め、市民の自主的な活動を支援する条例等の制定



# 推進体制

# 東大阪の景観の特性と課題

現在の東大阪の景観構造は、長い歴史のあゆみのなかで、かたちづくられてきたものです。そこで、東大阪の景観構造の変遷をふまえながら、景観の特性と課題を整理しました。

自然景の形成

自然景から生活景の分化

生活景から産業景の分化

都心景の誕生

## 景観の

## 東大阪のあみ

## 景観の特性

## 景観の課題

～原始的な自然生活～



原始

東大阪は、生駒山と大和川によってかたちづくられ、その恵みを受けて、人々は山麓で集落を営み採集や狩りや漁をして暮らしていました。人びとは、自然に感謝し自然を敬い、大いなる自然の姿を眺めていました。

生駒山と大和川がつくった自然・地形・風土は、「東大阪らしさ」の基盤で、その環境にふさわしい生活のしかたを工夫し、独自の産業と文化が築かれました。東大阪の自然・地形・風土を軽んじると、「東大阪らしさ」を失ってしまいます。

自然景では、生駒山と大和川がつくりだした自然や地形・風土が「東大阪らしさ」を生み出す基盤であることを十分に理解し、それらを保全・活用することが必要です。

～農村地帯として発展～



古代～近世

稲作がはじまると、集落は平地にも移り水田が広がります。大和川は、たびたび氾濫し人びとを苦しめましたが、やがて付替えられ新田が開墾されました。生活と産業は一体となっていて、人びとが暮らし働く姿が眺められます。

この時代の生活は自然と調和したものでした。しかし高度成長期になると、わたしたちの生活と産業は自然の流れをかき乱し、経済発展のかけで、自然破壊が進み、深刻な健康被害を生みだしました。

生活景と産業景では、自然を見つめ直し、自然と調和した生活のしかたと産業のありかたをつくりだし、自然がもたらす恵みとうるおいを享受できる環境をつくる必要があります。

～都市化の進展～



近現代

明治になると市街化が進み、東大阪も工業化への道を歩みはじめます。とくに高度成長期以降は、市街地が無秩序に拡大し、農地は急速に工業地や住宅地になり、生活の場と産業の場が分離されました。経済的な豊かさを手にするいっぽうで、生活と産業のひずみが表面化して、さまざまな環境問題や都市問題が発生します。

生活環境では、自然・歴史・文化が失われ、うるおいとゆとりに欠けた特色のない街並みが広がりました。また早くから発達した商店街も近年、かつてのにぎわいや活気が失われています。

生活景では、歴史や文化、うるおいとゆとりを感じ、快適に暮らせる住環境をつくり、人びとの交流がつくる温かみの感じられる商店街のにぎわいや活気をとりもどす必要があります。

～新都心の形成～



現在

流通業務市街地が形成されている長田・荒本地区では、近鉄線が開通し市庁舎が建設されるなど、住宅・商業・業務・文化など都心機能の集積が進み、現在、「産業・生活文化交流新都心の創生」をテーマにまちづくりが進められています。

東大阪新都心では近年、都心機能の集積も進み、にぎわいと活気ももたらされつつありますが、周辺の流通業務地と調和がとれているとは言えません。また都心機能をさらに高め、市の中心としてのイメージを創出してゆくことが求められています。

都心景では、生活と産業との調和を図りながら、東大阪を象徴する都心にふさわしい洗練されたイメージを創出することが必要です。

## 景観形成基本計画って何？

「東大阪市景観形成基本計画」は、個性的で魅力あふれる「東大阪らしい景観」を、市民・事業者・大学・行政が協働でつくりはぐんでゆくため、景観づくりの基本的な方向をさだめ、共通の認識として示したものです。

高度成長期以降、わたしたちの生活はずいぶん豊かになりました。けれど、そのいっぽうで、身近な自然が失われ、歴史や文化にたいする意識も薄れるとともに、経済効率を優先したまちづくりによって、個性のないどこにでもある街並みが広がり、その結果として、東大阪の自然・歴史・文化に根ざした「東大阪らしさ」が見えにくくなってしまっています。

2003年には、東大阪市第2次総合計画もスタートし、「夢と活力あふれる元気都市・東大阪」を将来都市像に、歴史と文化を活かした住み・働き・学び・憩い・楽しむ環境の調和をめざしたまちづくりが進められています。

わたしたちはいま、「東大阪らしさ」をつくりだしている自然・歴史・文化をもう一度見つめ直し、それらを生活のさまざまな場面に活かし、総合計画の描く将来都市像を景観という側面から実現することが求められているのです。

## ●景観形成基本計画とは…

東大阪の自然・文化を、生活のさまざまな面に活かす

「と活力あふれる気都市・東大阪」を、景観から実現する

## 東大阪市景観形成基本計画

- ◆個性的で魅力あふれる「東大阪らしい景観」の実現◆
- ◆市民・事業者・大学・行政の協働による景観づくりの推進◆

## こんなことも景観づくり…

景観づくりといっても、なにか特別なことをしなくてはならないというものではありません。たとえば、つぎの事例に見るようなことを、これまでに考えたりしたりしたことはありませんか？ こうしたことも、いきいきと生活している「まちの姿」を実感できるものにしようとする取り組みですから、景観づくりといえるでしょう。みなさんが、これまでしてきた、ちょっとした活動も、こうした視点でもう一度見直してみませんか？

### 住環境をもっとよくしたい

▼空き缶やタバコの吸い殻を塀の前や溝に捨てられて、いつも困っているAさん。▼なんとかしたいな、どうも殺風景な印象がよくないのかな？ そう思って、塀の前に花や緑のプランターを飾ってみました。▼ゴミのポイ捨てがなくなるだけでなく、通りの印象が明るくなりました。



### 技術のまちを世界に誇りたい

▼自社製品が認められ国内外から問合せが殺到！ 今度、工場を視察させて欲しいといわれました。▼海外からのお客さまにも、中小企業の力を堂々と見てもらいたい…。けれど表通りが殺風景だし看板も汚れていてどうもみっともない。▼それで、工場の看板や外壁・入口まわりをきれいにしようと思っています。



### 自然をまもり子どもたちに伝えたい

▼むかし、このまちの川にはホタルが舞う美しい水辺の風景がありました。けれど、ホタルの姿を見なくなって、もうずいぶんになります。▼かつての風景をもう一度取りもどして、子どもたちのために残したい。▼生き物がすめる川にしよう、川の清掃からはじめ、水と親しめる川づくりを進めています。



### 人が集う心地よい商店街をつくりたい

▼とある商店街。通りの印象が暗く乱雑で、お客さんの入りもどうも良くない。▼そこで、商店街の仲間と話しあって、通りを明るくきれいにイメージアップしよう！ ということになりました。▼府と市と協定を結んで、ゴミの回収や花の苗の提供を受け、歩いて楽しい商店街づくりを進めています。



## 東大阪市景観形成基本計画(2005年)

東大阪市 建設局 都市整備部 都市づくり課  
〒577-8521 東大阪市荒本北1丁目1番1号  
TEL:(06)4309-3213 FAX:(06)4309-3831  
E-mail:toshidukuri@city.higashiosaka.lg.jp